

福井市学校版環境ISO 実施計画書

福井市長 様

私たちの学校は、恵み豊かな環境を守り未来に引き継いでいくために、環境保全に関する学習、教育及び活動を積極的に行って環境にやさしい学校づくりと生命や自然の大切さを理解し郷土を愛するモラルの高い児童・生徒の育成に取り組むための実施計画を作成しましたので、福井市学校版環境ISO認定制度による認定の更新を申し込みます。

令和3年5月17日

学校名 福井市麻生津小学校

校長氏名 斎藤 弘子

1 今年度の目標（学校の約束）

- ① 麻生津地区の環境、地球環境について学習します。
- ② 水や電気などの資源を大切に使います。
- ③ ごみを減らし、リサイクルに努めます。

2 取組内容

① 環境学習・環境教育

- ・教科・総合的な学習の時間・特別活動の授業の中で、環境問題を取り上げた授業を行います。
- ・児童の実態に応じて、持ち物を大切にする指導を行います。

② 省エネルギー・省資源

- ・使用していない教室や廊下、トイレなどの照明をこまめに消します。
- ・節水を意識して、水の出しっぱなしに気をつけるようにします。
- ・プリントを印刷するときは、必要な枚数を確認したり、反古紙を利用したりします。
- ・職員の資料や連絡は、できるだけデータで共有できるようにします。
- ・お便りのデータ配信を活用して、ペーパーレスに取り組んでいきます。
- ・エアコンの稼働は気温の高くなる教室から順に時間差で行います。

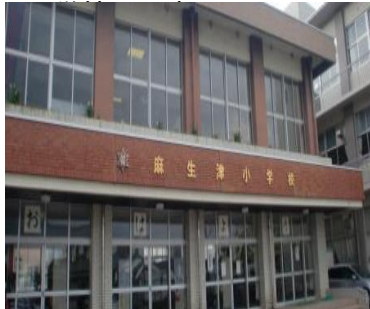
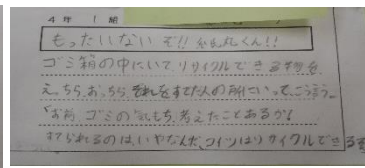
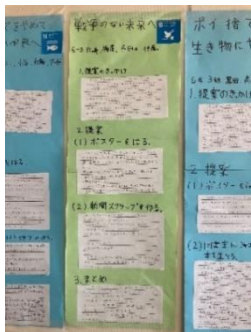
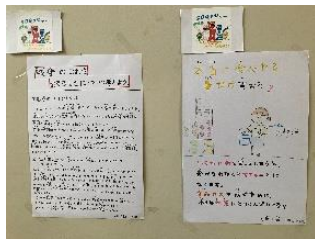
③ ごみ減量・リサイクル

- ・福井市のごみ分別ルールに従って分別します。
- ・職員室のごみ箱は1つにして、ごみ減量をめざします。
- ・委員会などを通し、児童自身がごみを減らそうという意識が高まるような取り組みを行います。

★ ESDポイント（取組内容の内、1項目についてESDの視点をどのように取り入れるかを記載して下さい。）

- ①での環境学習・環境教育で学んだことを掲示物等でみんなに発信できるようにする。
（コミュニケーション・協力）

福井市学校版環境ISO 実施報告書

学校名 麻生津小学校	
1 今年度の目標（学校の約束） ① 麻生津地区の環境、地球環境について学習します。 ② 水や電気などの資源を大切に使います。 ③ ごみを減らし、リサイクルに努めます。	
2 取組内容 ① 環境学習・環境教育 4年生の社会科「ごみの処理と利用」では、家庭のごみ調べを行いました。ごみを減らすために家庭でできることや、学校でも取り組めることを考えました。クリーンセンターの見学ができない代わりに、動画を視聴し、ごみを減らすため4R（リサイクル・リユース・リデュース・リフューズ）が必要なことを学習しました。また「くらしをささえる水」では、市政出前講座で生活排水を繰り返し使うための工夫を学びました。生活排水が微生物の力によって浄化され、川や海に戻されること、処理中に出されたガスや汚泥も次のエネルギー等に利用されることなどを知り、それらを新聞にまとめる活動につなげました。 また、総合的な学習では、「地球にやさしく」をテーマに調べ学習を行い、1人1人が環境新聞を作成しました。環境キャラクターも考え掲示しました。道徳でも、地球温暖化や森林の働きなどを知り、身近におきている災害と環境汚染が深く結びついていること、それを防ぐために、どんなことから始めると良いかを考えることができました。   「環境キャラクター」 「環境新聞」 6年生の国語科「わたしたちにできること」の学習では、「生活の中のSDGsを考えよう」というテーマを設定して進めました。子供達は、環境のために自分たちができていることを考え、全校に提案することになりました。提案の仕方もそれぞれ工夫し、節電・節水・食品ロスの削減などをポスター・壁新聞の掲示、放送での呼びかけ、図書室のSDGsコーナー設置など、様々な形で全校に発信しました。     「SDGsを考えよう」	

② 省エネルギー・省資源

各クラスの係活動の中で、教室移動時に電気を消すことや、手洗いの節水を呼びかけるなど、省エネルギーに心がけました。

職員室には、反古紙をサイズごとに整理し、プリントの印刷に再利用しました。また、職員会議は、個人のパソコンを開いて行い、学年だより・保健、給食だより等を1月からデータ配信することで、ペーパーレス化に努めました。

③ ごみ減量・リサイクル

児童が福井市のごみ分別ルールに従って分別できるよう、ごみ箱にイラストを貼るなど視覚化させて、低学年でも分かるようにしました。

職員室内のごみ箱を1つにし、個人のごみは、家に持ち帰るようにしています。裁断機の横に古封筒を置き、裁断した残りの不要な紙を入れられるようにしたり、ごみ箱横に紙袋を置き、紙をメモなどの紙を燃えるごみに捨てず、できるだけ紙資源のリサイクルに出したりしています。

★ ESDポイント（取組内容の内、1項目についてESDの視点を取り入れたポイントを記載して下さい。）

①について、4年生は社会科や総合的な学習での環境学習を通して学んだことを、掲示物で発信することができました。また、6年生はSDGsについて考え、様々な呼びかけを行うことによって、全校児童がごみや食品ロスの削減、節電・節水への意識を高めることができました。他にも、全校朝礼の「校長先生のお話」の中でSDGsについて取り上げたり、給食時間に「食品ロス」の動画を見たりと折に触れて教師が話をしたため、児童への理解が深まったと思います。（コミュニケーション・協力）

3
見
直
し

【具体的効果】

- ① 環境についての学習を通して自分たちの生活が与える地球環境への影響を知り、ごみを減らしたり、資源を大切に使いましょうとする意識が高められました。
- ② 1月より、毎月定期的に学校から配布するお便りをデータ配信のみにすることで、紙の消費を大幅に削減することができました。

【改善点】

- ・委員会での取り組みや、個人の取り組みの成果が見える化する事で、実践への意欲を高め、継続を促せるようにしたいです。